

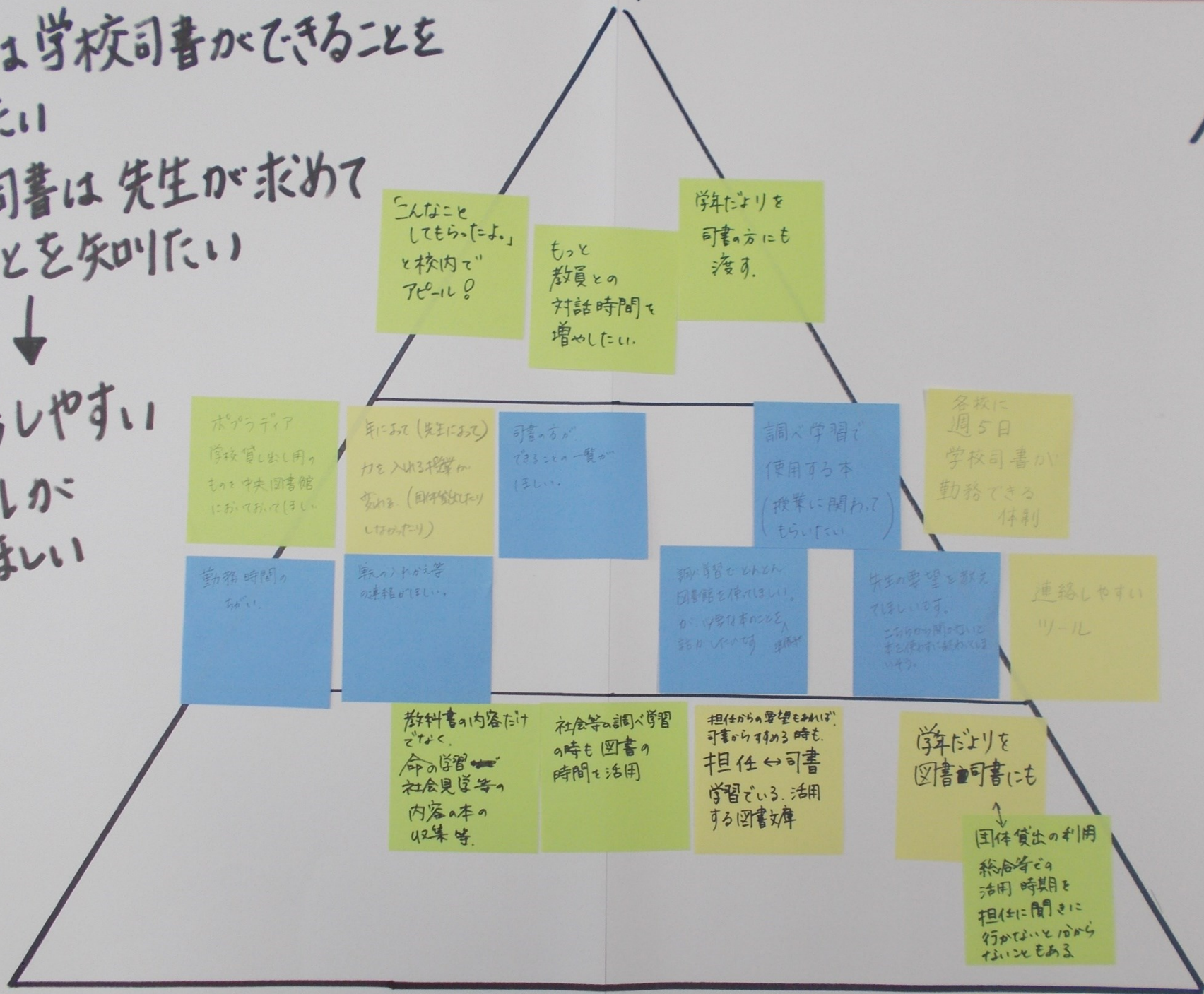
先生は学校司書ができることを
知りたい

学校司書は先生が求めて
いることを知りたい



連携しやすい
ツールが
ほしい

A



B

- 3.2 美王が同じ名前を2人2人持つ
- 美王と弟の4人兄弟が2人2人持つ
- 国(24) 2002(21) 17(1)
- 3.17 3.2 美王と弟の4人兄弟
- 3.17 3.2 美王と弟の4人兄弟

同書とのキヨリをくらひぬ。
もっとユミニケーションを
とって本音トークをする。

司香さんと教員をつなぐ
何かが出来ればーと
思いました。

先生は、お友達と
同じ方向を歩いている。
何かしら、お友達、あはれ。
司書は、お友達、あはれ。
一歩、お友達、あはれ。

7月2日 13時 15分
ア、ロカンイ
120 自由にロカンイ
学習、同以外にもいかに指導する
司書が得る。

打ち合わせの時間が
確保されると良い

教員→司書さん
単元に合わせた
情報の pickup

- ・本に興味関心を持つ
- ・自分の本を読む
- ・算用本以外の算書
- ・和算書 文句の傍註
→ 算用本の傍註

以上は、
算用本以外の算書、和算書
(ほかに)

- ・読書ノート
- ・団体貸出
- ・学級文庫交換
- ・朝読

- ・学級文庫用の貸し出し (個人貸出と別)
- ・全教科に関連
- ・毎時周ゆきかで
お話しボランティア

市川 理香子と結婚したのは
昭和 〇〇年の夏、愛媛県
〇〇市、愛媛県立〇〇高等学校
で出会った。あ
んなり、あんなに
愛媛県立〇〇高等学校
で出会った。

[illegible]

本の
かしかり
使
やす
い
本
を
活
用
す
る

調べ
学習

学年だより
(学習内容を共有する)
さまざまな学習で利用する!!

イベント
ポップ作り

事前に司書の先生に
相談する。

タブレットを使いながら
本をもっと活用したい。

学年だよりの配付
教務主任の先生に
お願いする。

授業のときに
図書館へ行く
社会科・国語科の
本・資料を活用したい。

児童に依頼して
もらえらる様に、楽しい
読本のコーナーを作る

授業の中で使用できる
本を知りたい、そこに載っている
3年生から読んでほしい
本を知りたい。

本の活用を推進
でもなかなか
つづけていない。
・たくさん本を読める
ようになること。

読ませたい本を
紹介したい。
・読ませたい本を
紹介したい。
・下級生に
紹介したい。
・下級生に
紹介したい。

調べ学習のとき
どの本が
使えそうか
を
紹介したい。
(国語の教科書
の
紹介したい)

先生方の読書体験を
更新していくこと。
おすすめ本について
たくさん本を読んで
紹介したい。

学校司書から
・学年だよりの配付
・南市内小・うらやま
・授業の更新
・読ませたい本
・読ませたい本
・読ませたい本

教科書・並行読書
テーマの明示。
教科書の内容と
並行読書の共有
を
紹介したい。

コーディネーターとして
先生方には
図書館で
授業をして
紹介したい。
司書の先生に
紹介したい。

(調べ学習)
タブレットを使い
ながら
調べ学習
を
紹介したい。

調べ学習のとき
どの本が
使えそうか
を
紹介したい。
(国語の教科書
の
紹介したい)

調べ学習の資料
提供
並行読書
図書館司書
紹介したい
(1年生～6年生に
1週1時間)

読書
紹介カード
(低・中・高
各年級)
→図書室に
掲示

読書
紹介カード
(低・中・高
各年級)
→図書室に
掲示

教職員の先生の本
紹介
例えば
おもしろい
本
を紹介したい。
紹介したい。

図書館司書の先生
紹介
例えば
おもしろい
本
を紹介したい。
紹介したい。

(図書室の活用)
子どもたちが
読みたい本
を紹介したい。
紹介したい。

図書・授業時に
紹介したい
紹介したい
紹介したい
紹介したい
紹介したい
紹介したい

図書・授業時に
紹介したい
紹介したい
紹介したい
紹介したい
紹介したい
紹介したい

図書・授業時に
紹介したい
紹介したい
紹介したい
紹介したい
紹介したい
紹介したい

図書・授業時に
紹介したい
紹介したい
紹介したい
紹介したい
紹介したい
紹介したい

図書・授業時に
紹介したい
紹介したい
紹介したい
紹介したい
紹介したい
紹介したい

図書・授業時に
紹介したい
紹介したい
紹介したい
紹介したい
紹介したい
紹介したい

E

担任の姿勢
どうどう

この際に出し手は物語を
本を自分で読んでよこにのける

先生とのコミュニケーション

団体貸出し

詳しく書いてある依頼
したいと思っただけ
読者の本から物語へ
つなげる取組も
したいです

図かん、分野から
選りだすテーマを
（国・地域・年代・性別）
で絞り込んでいく

読者のニーズから
子どもが何を求めているか

調べ学習の10月号より
として伝えたいと書いた
明日から読んで
読者のニーズから
読者のニーズから
読者のニーズから

読者のニーズから
読者のニーズから
読者のニーズから
読者のニーズから

〇っけから
教員も本を読んで
姿勢を見せたいと...

道徳で活用できる
本を教員が読んで
子どもに読んで
読者のニーズから

何でもありです
依頼してきてください

子どもたちが本好きにな
る。かいてください
こんな本を読みたい
こんな本を読みたい

① 児童書
調べ学習の教材として
読者のニーズから
読者のニーズから
読者のニーズから

本の紹介
読者のニーズから
読者のニーズから
読者のニーズから

学年別・年度別
と教科・校外学習など
関連する読書計画
印刷（コピー）
本があること・借り前

全クラス週1回 図書の日
を設ける
貸出・返却・お返し
全クラスの基本の流れ
読書・使用する図書は、先生
から子どもに依頼

図書委員による「おんたてんカード」
の配布（10枚で1冊）
読者のニーズから
読者のニーズから

G

○児童、生徒対応

情報収集
資料の使い分け
記録、評価、訂正

○ていねいな指導
何+も使って、
「どのように」
+

○時局や期日を守る
(「こんな人の話ですか?」
成立していることを
教員もちゃんと考えて
行動する)

○各児童の読書量
増え、多読体験への
丁寧な。

学習能力の
担任・先生との会話、
情報収集を
毎日の

「音読」を「読む」として
とらえてほしい!

しるべきも使えること
(伝えます!)

○居場所づくり
○授業内容の共有

○居場所づくり
○教師、親には
ちがう大人

毎日、授業に
おくれず来てほしい!
進捗おはしてほしい!

授業でやること
などももっと知り
たい。(内容・形式も
含む)

授業
・課題・課題の学習
・知識の整理と探求
サポート
・読書の楽し
・生徒の居場所

・国書館の運営
・不登校生徒への対応

○互いの持つ情報の
シェアリング(共有?)

○離れ、並行読書などの
事務的なお話し!

・デジタルアーカイブの活用
・読書ノート
・自分で決めたこと
・児童生徒が
運営

○国語科学習との連携
○各児童の居場所づくり

○学習に即けた研習
(平和・国語に戦争の本
デジタルアーカイブを活用
(武蔵野の国語 1945年の戦争
1947年の戦争)

○大型絵本をつくら

〈国書館内〉最上は
本の紹介・お話し(15分)
学習の場で行う。本
館の蔵書は「国語館蔵書」
と「国語館蔵書」(国語館蔵書)
〈読書ノート〉
今年から全児童に配布
しようとした。

・情報活用能力
・情報収集能力
・情報選取能力
自らの必要図書資料に
アクセスできるように指導

・文化局長の読書点検
・学校図書への
オリエンテーション

○国書の授業にあって、
ライブラリアンシップを
活用
国語館の国語館(本)の
読書の楽し

○国書館の国語館(本)の
読書の楽し

○国書館の国語館(本)の
読書の楽し

H

本の数がおそろく
ギリギリなので
子どもがいきなり
来ませんが、学科と
関連した本を紹介
していきたい。

子どもたちに、本の魅力を
伝える。可憐な本と相対し、
何冊か紹介。

学年通信をBOXへ

毎時間できる限り
図書館を開放して
ほしい。
(毎週1時間必ず
図書時間を設ける)

本の素晴らしさを感じ
させてくれる児童の声かけ
ほしい内容の本を
たずねたら、関連する
本を何冊か教えて
もらえる。

周辺の公共施設や
イベントと関連した
校内イベントを
する。

図書担当1年おき
おそろいにしてほしい
色を教わってほしい
図書です。1冊
読んでほしい。

イベントの内容をいっしょ
相談させてもらって
います。
来館数が増やそうに
アイデアを出してほしい。

子どもたちに
学校図書館内に
ある蔵書を紹介
してほしい。

おそろいの本を、おそろい
(図書)時間に
いっしょに読んでほしい!!
教科の学習本を
学級図書も紹介して
ほしい。

図書
30冊
40冊
50冊
100冊
200冊

国語科の教科書に
関連する図書も
紹介してほしい。

言語活動や授業
との連携
・ブック
・成果物の掲示
・本の大量貸出

学校貸出
(本棚ラック)

毎学期末に
読書数の
表彰

国立国会図書館
からの
団体貸出

図書委員・ボランティア
教員からの
オススメ本紹介

教員と利用した
イベント
・折り紙
・読書ヒューズ

中休みにボランティアさん
に協力していただき
図書館開放をする
こと、開館時間を
確保する。

・図書委員による
毎全曜日の朝の
読書
・読書数表彰
・図書委員による
新聞の掲示